

# 小さなムラにある大きな希望

～「いつまでも住み続けられる法末<sup>ほろすえ</sup>」を目指して～



長岡市法末自然の家 やまびこ

**法末**地域（現新潟県長岡市）は、中山間地の過疎・高齢化問題が唱えられはじめた昭和62年に「集落活動計画」を策定し、これにより廃校となっていた小学校を平成2年に地域交流の拠点として青少年共同宿泊施設「法末自然の家やまびこ」として復活させました。

運営は長岡市から受託し、法末集落42世帯全住民自らの手で行われており、田植え体験、動植物自然観察、稲刈り、雪国体験など四季折々の催しにより年間約1500人に利用されています。平成18年からは、「やまびこ」を中心とする集落の生き残り策を、外部の支援者とともに考え、「いつまでも住み続けられる法末」をメインテーマとして、定住・産業・交流を3本柱に、各種事業に取り組んでいます。「定住」では、老人

世帯の雪下ろしを補助するシステムを考えるなど住民がこれから快適な生活を送るための事業を行い、「産業」では、村外の方に遊休農地を貸し出す事業や特産品開発を進めています。「交流」では、支援団体などと協働で集落周辺に整備したトレッキングルートを巡る「やまびこウォーク」など、住民との積極的な交流を生み出すための農村体験メニューづくり等を行っています。

これまで約20年間、地域が一体となり中山間地の活性化に精力的に取り組んでおり、中越大震災で被災した際にもその高い自治能力でいち早く修復に取り掛かることができました。地震から1年半で「やまびこ」の再オープンを果たしたことで、帰村を諦めていた住民も元気を取り戻しています。



震災復興やまびこウォーク



武蔵野市との交流事業「親子棚田体験ツアー」



中越大震災での被害（県道の崩落）



法末集落全員集合「集落行事 サイノカミ」

## ■所在地

新潟県長岡市小国町法末706番地

## ■活動内容

- ・雪割り草展：3月下旬
- ・武蔵野市「親子棚田体験ツアー」（田植え）：5月中旬
- ・棚田体験（田植え）：5月下旬
- ・武蔵野市「親子棚田体験ツアー」（稲刈り）：9月中旬
- ・棚田体験（稲刈り）：9月下旬
- ・オープンガーデン事業：雪が降るまで
- ・やまびこ営業（農村体験別途予約）：通年

## ■活動主体名

法末集落 <http://hosue.jp/>

## ■応募者又は推薦者・担当部局名・連絡先等

法末振興組合（法末自然の家 やまびこ） 電話番号：0258-95-3827

